



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社
 コード番号 9304 URL <http://www.shibusawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 笠原 伸次
 (氏名) 星 正俊

TEL 03-5646-7235

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,746	△1.5	696	△16.5	699	△12.5	254	△50.4
24年3月期第1四半期	13,950	2.3	833	0.5	798	△5.7	512	41.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 95百万円 (△79.6%) 24年3月期第1四半期 466百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.35	—
24年3月期第1四半期	6.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	83,482	32,390	38.0
24年3月期	84,817	32,564	37.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 31,706百万円 24年3月期 31,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.50	6.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,700	0.2	1,560	△3.1	1,380	△3.8	800	△8.6	10.52
通期	54,200	1.3	2,850	4.7	2,500	5.2	1,450	55.8	19.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものではありません。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	76,088,737 株	24年3月期	76,088,737 株
25年3月期1Q	53,582 株	24年3月期	53,130 株
25年3月期1Q	76,035,155 株	24年3月期1Q	76,038,227 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機問題の再燃や円高傾向の継続があったものの、復興需要の拡大や個人消費の改善により景気は緩やかに回復しました。

このような経済情勢にあって、物流業界では円高持続が下押し要因となり輸出貨物が伸び悩んだものの、消費財を中心に国内貨物の荷動きは堅調に推移しました。一方、不動産賃貸業界では都市部のオフィスビルの空室率が借り替え需要などの動きにより下げ止まり、賃料相場は横ばいで推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、今期が最終年度である中期経営計画「SUCCESS 2012」の事業戦略に沿い、積極的な営業活動を展開いたしました。物流事業においては、消費財を中心とした国内輸配送業務の拡販や海外拠点における新規営業活動に努めてまいりました。また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守、改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業で若干増収となったものの、物流事業において震災対応の緊急輸送需要の終息もあり、輸入航空貨物の取扱いが大きく減少したことや、前期に実施したゴルフ場事業の売却により、前年同期比2億4千万円(1.5%)減の137億4千6百万円となりました。営業利益は、物流事業における収益減に伴う利益の減少により、同1億3千7百万円(16.5%)減の6億9千6百万円となりました。経常利益は、資金調達費用は減少したものの、営業利益の減少により、同9千9百万円(12.5%)減の6億9千9百万円となりました。また、四半期純利益は、投資有価証券評価損を特別損失として計上したことにより、同2億5千8百万円(50.4%)減の2億5千4百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

① 物流事業

倉庫業務は、保管料収入および荷役料収入ともにほぼ前年同期並みに推移し、営業収益は前年同期比2千万円(0.9%)増の23億2千3百万円となりました。

港湾運送業務は、在来船貨物に係る船内荷役業務の減少などにより、営業収益は同3千1百万円(2.3%)減の13億7千6百万円となりました。

陸上運送業務は、フェリー航送の取扱いが減少した一方、日用雑貨を中心とした輸配送業務の取扱いが増加し、営業収益は同6千8百万円(1.0%)増の70億1百万円となりました。

国際輸送業務は、海上貨物の取扱いが増加した一方、航空貨物において輸入貨物の取扱いが減少し、営業収益は同1億3千8百万円(12.1%)減の10億3百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比1億1千6百万円(1.0%)減の120億5千8百万円となりました。営業費用は、貨物取扱いの増加に伴う作業費の増加などにより、同3千7百万円(0.3%)増の117億円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比1億5千3百万円(30.1%)減の3億5千7百万円となりました。

② 不動産事業

平成24年2月に竣工した神戸市中央区の賃貸用寄宿舎「ドリーミー三宮」が寄与し、営業収益は前年同期比3千7百万円(2.3%)増の17億2千万円となりました。営業費用は、光熱動力費やビル管理業務費の増加などにより、同4千9百万円(5.4%)増の9億6千5百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比1千1百万円(1.5%)減の7億5千4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、固定資産の減価償却および投資有価証券の時価評価による減少等により、前連結会計年度末に比べ13億3千5百万円減少し、834億8千2百万円となりました。

負債については、借入金の約定返済が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べ11億6千1百万円減少し、510億9千1百万円となりました。

また、純資産については、四半期純利益の計上があったものの、配当金の支払やその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1億7千3百万円減少し、323億9千万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.4ポイント増加し、38.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローの減少により、全体で20億2千8百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、65億1千9百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等があったものの、売上債権の増加等により4億8千7百万円の減少(前年同四半期比2億2千9百万円の減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等があったため、6億7百万円の減少(前年同四半期比2億7千万円の増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済や配当金の支払いがあったため、9億3千8百万円の減少(前年同四半期比1千4百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、概ね計画通りに推移しておりますので、平成24年5月11日に公表した第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,565	5,492
受取手形及び取引先未収金	9,459	10,446
有価証券	4,403	2,501
その他	2,277	2,728
貸倒引当金	△20	△15
流動資産合計	21,685	21,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,138	30,779
土地	18,870	18,870
その他(純額)	1,529	1,462
有形固定資産合計	51,538	51,112
無形固定資産		
投資その他の資産	727	802
投資有価証券	8,455	7,865
その他	2,452	2,592
貸倒引当金	△53	△54
投資その他の資産合計	10,853	10,404
固定資産合計	63,120	62,318
繰延資産	12	9
資産合計	84,817	83,482

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,347	4,323
1年内償還予定の社債	—	7,000
短期借入金	6,188	6,018
未払法人税等	71	206
引当金	558	306
その他	2,548	2,222
流動負債合計	13,713	20,076
固定負債		
社債	7,000	—
長期借入金	24,185	23,696
長期預り金	5,090	5,054
退職給付引当金	2,077	2,086
その他	185	177
固定負債合計	38,539	31,015
負債合計	52,253	51,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,663	5,663
利益剰余金	18,016	18,003
自己株式	△19	△19
株主資本合計	31,507	31,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,094	843
為替換算調整勘定	△698	△631
その他の包括利益累計額合計	396	212
少数株主持分	661	684
純資産合計	32,564	32,390
負債純資産合計	84,817	83,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業収益		
倉庫保管料	1,212	1,229
倉庫荷役料	1,090	1,093
荷捌料	2,672	2,484
陸上運送料	6,931	6,998
物流施設賃貸料	222	212
不動産賃貸料	1,653	1,692
その他	167	35
営業収益合計	13,950	13,746
営業原価		
作業費	8,894	8,907
賃借料	564	571
人件費	846	785
減価償却費	628	588
その他	1,401	1,401
営業原価合計	12,335	12,254
営業総利益	1,615	1,491
販売費及び一般管理費	781	795
営業利益	833	696
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	128	114
その他	54	43
営業外収益合計	187	164
営業外費用		
支払利息	140	138
資金調達費用	65	—
その他	16	23
営業外費用合計	222	161
経常利益	798	699
特別利益		
債務免除益	114	—
特別利益合計	114	—
特別損失		
投資有価証券評価損	15	235
固定資産処分損	77	—
特別損失合計	93	235
税金等調整前四半期純利益	820	463
法人税等	293	196
少数株主損益調整前四半期純利益	526	266
少数株主利益	14	11
四半期純利益	512	254

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	526	266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	△253
為替換算調整勘定	27	82
その他の包括利益合計	△60	△171
四半期包括利益	466	95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	448	70
少数株主に係る四半期包括利益	17	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	820	463
減価償却費	659	623
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△4
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	△32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△24	9
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△81	—
受取利息及び受取配当金	△133	△120
支払利息	140	138
投資有価証券評価損益 (△は益)	15	235
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△1
固定資産除却損	23	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△566	△984
仕入債務の増減額 (△は減少)	311	△26
その他	△1,062	△644
小計	107	△342
利息及び配当金の受取額	131	119
利息の支払額	△195	△207
法人税等の支払額	△302	△56
営業活動によるキャッシュ・フロー	△258	△487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△698	△674
定期預金の払戻による収入	695	691
有形固定資産の取得による支出	△819	△526
有形固定資産の売却による収入	4	4
無形固定資産の取得による支出	△20	△59
投資有価証券の取得による支出	△21	△5
貸付けによる支出	△44	△44
貸付金の回収による収入	25	4
その他	—	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△878	△607
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	131	118
長期借入れによる収入	—	14
長期借入金の返済による支出	△843	△793
配当金の支払額	△229	△266
少数株主への配当金の支払額	△0	△1
リース債務の返済による支出	△11	△11
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△953	△938
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,092	△2,028
現金及び現金同等物の期首残高	8,234	8,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,141	6,519

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	不動産事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する営業収益	12,173	1,653	13,826	124	13,950	—	13,950
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1	29	31	0	31	(31)	—
計	12,174	1,682	13,857	124	13,981	(31)	13,950
セグメント利益又は損失(△)	511	766	1,277	△13	1,264	(430)	833

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場運営等の業務を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△430百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	12,054	1,692	13,746	—	13,746
セグメント間の内部営業収益又は振替高	3	28	32	(32)	—
計	12,058	1,720	13,778	(32)	13,746
セグメント利益	357	754	1,112	(416)	696

(注1) セグメント利益の調整額△416百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注3) 「その他」の事業を構成していたゴルフ場運営事業の整理が前連結会計年度において完了したことにより、当該区分は削除しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。